

【やまゆ連・手作りカフェー】

棧俵

3月4日（土） 10：00～12：00 平和台集会所

集会所に着いた途端、ホ～ホケキョ！
続けて2～3回、春一番のウグイスの音が響きます。先に来ていた人も、聞いた！聞いた！と嬉しそう。

今日は輪飾りの残りの藁を使って、「棧俵」作りです。米俵の両端につける蓋や、流し雛の台座にも使われました。

以前藁細工を教えてもらったsさんの手引プリントを参考に、取り組みました。根元と穂先をカットした48センチの藁を44本束ね、麻紐で中央を固く結びます。藁を立て、放射線状に開き、円形の台紙を載せて、中心にボルトとナットを挿して固定します。箸のような棒で固定する人もいました。2本ひと組にして藁を持ち、隣の藁の後ろを回すようにして中心へ中心へと藁を倒して編んでいきます。

と、こう書くと簡単そうですが、実際は、うまく行かない、という声がしきりでした。皆んなで知恵を出し合って、なんとかそれらしくなったけど、少々いびつな形になり、再

チャレンジするという人もいました。

昔の農村では稲わらを縫ったり編んだりするのは、日常の手仕事だったことでしょう。しかも完成品は洗練された美しさです。見本とは程遠い自分の棧俵もどきを見て、ため息が出ました。

（桑原）

カフェメニュー 金柑大福など



柿落葉、桜落葉で作ったひな人形を乗せて